

2025年度 事業計画ならびに予算のお知らせ

2025年2月13日に開催されました第121回組合会にて、
2025年度事業計画ならびに収入支出予算が承認されました。

2025年度 予算TOPIX

- 保険料率（調整保険料率含む）は、14年連続8.9%を維持。
- 被保険者数は、315,000人（前年比4,800人増）。
- 事業遂行のための貴重な原資、保険料収入は1,569.1億円（前年比50.3億円増）。
- 保険給付費799.3億（前年比40.3億円増）、高齢者負担金750.9億円（前年比34.2億円増）を計上。
- 収支均衡のため、準備金109.7億円を繰り入れ。

健康保険料率 **8.9%** 介護保険料率 **1.8%**

高齢者医療への負担金の増加、2026年度から始まる子ども・子育て支援金率の健康保険料率への上乗せ等を鑑み、2025年度より保険料率改定の議論を開始いたします。



2025年度 収入支出予算の概要

調整保険料収入 23.3億円

◆高額な医療費の発生に備え、健康保険組合連合会(以下、健保連)が行っている「交付金事業」の財源に充てる為、組合員のみなさまに納めていただく保険料

施設利用料 18.7億円

◆直営施設の利用率収入、各健診の受診料

財政調整事業交付金 15.7億円

◆TJKで高額な医療費が発生した場合に財政調整事業拠出金を財源として健保連から助成される交付金

準備金からの繰入金 109.7億円

◆収支均衡を図るため健康保険法に基づき保有している準備金より繰入

その他 9.0億円

◆国庫からの事務費補助金など

収入予算総額
1,745.5億円

保険料収入1,569.1億円

◆事業主と被保険者との折半で、給与および賞与から納めていただくTJKの主要財源。医療費や、健診・メンタルヘルス相談等にかかわる健康管理事業、保養施設・運動施設等にかかわる健康増進事業などの原資

基礎数値()内は2024年度決算見込対比

被保険者数(本人)	315,000人(+4,800人)	被扶養者数(家族)	139,900人(-244人)
平均標準報酬月額	400,100円(+7,900円)	平均賞与額(年間)	956,000円(+10,500円)
事業所数	1,618社(+3社)	保険料率	8.9%(±0)

社会保障をめぐる情勢・TJKをとりまく現状を鑑み、2026年度以降の保険料率について検討を開始いたします。

- ✓ 環境分析、人員、医療費、高齢者への支援金推計、TJKの事業の再検証を行います。
- ✓ 2026年度「子ども・子育て支援金」制度開始に伴い、健康保険料に支援金率が上乗せされる影響の推計。
- ✓ 2025年春より検討を進め、7月の組合会で提案後、事業主のみなさまへ方向性を提示いたします。最終的には、2026年2月組合会にて正式決定となります。

社会保障をめぐる情勢

■ 子ども・子育て支援金制度 2026年度開始

少子化・人口減少が危機的な状況にある中、個々人の子育てに関する負担を軽減し、少子化トレンドの反転につなげていくため「こども未来戦略」の中で、年3.6兆円規模のこども・子育て政策の給付拡充を図ることに。

財源は、健康保険料に「子ども・子育て支援金率(支援納付金分)」として上乗せされ、2026年度から2028年度にかけて段階的に構築。

→支援金率は国から一律定率が示される予定

■ 保険証発行廃止に伴う“マイナ保険証”への移行

TJK加入員のマイナ保険証登録率64.2%。医療機関での使用率23.6%。2025年12月には保険証は完全廃止となるため、混乱のない円滑な運用に向け継続した案内が必要。

■ “年収の壁”議論の動向注視

いわゆる“年収の壁”は見直しに向け議論されており、就労抑制や税、社会保険料の負担だけでなく、将来的な給付や全体的な財源を含めた総合的な議論が必要。

TJKの現状

■ 保険料収入の約半分を高齢者医療の負担金へ支出

- 社会問題となっている超高齢社会の趨勢、社会保障費の膨張、過重な負担金により厳しい経営環境。
- 2025年団塊世代が後期高齢者へ完全突入、2040年団塊世代90歳超え、医療・介護等の社会保障費↑

↘ は膨張の一途となり、2025年の高齢者医療への負担金は準備金※繰入にて対応。
※準備金→収支均衡を図るため健康保険法にて保有を義務付けられている。

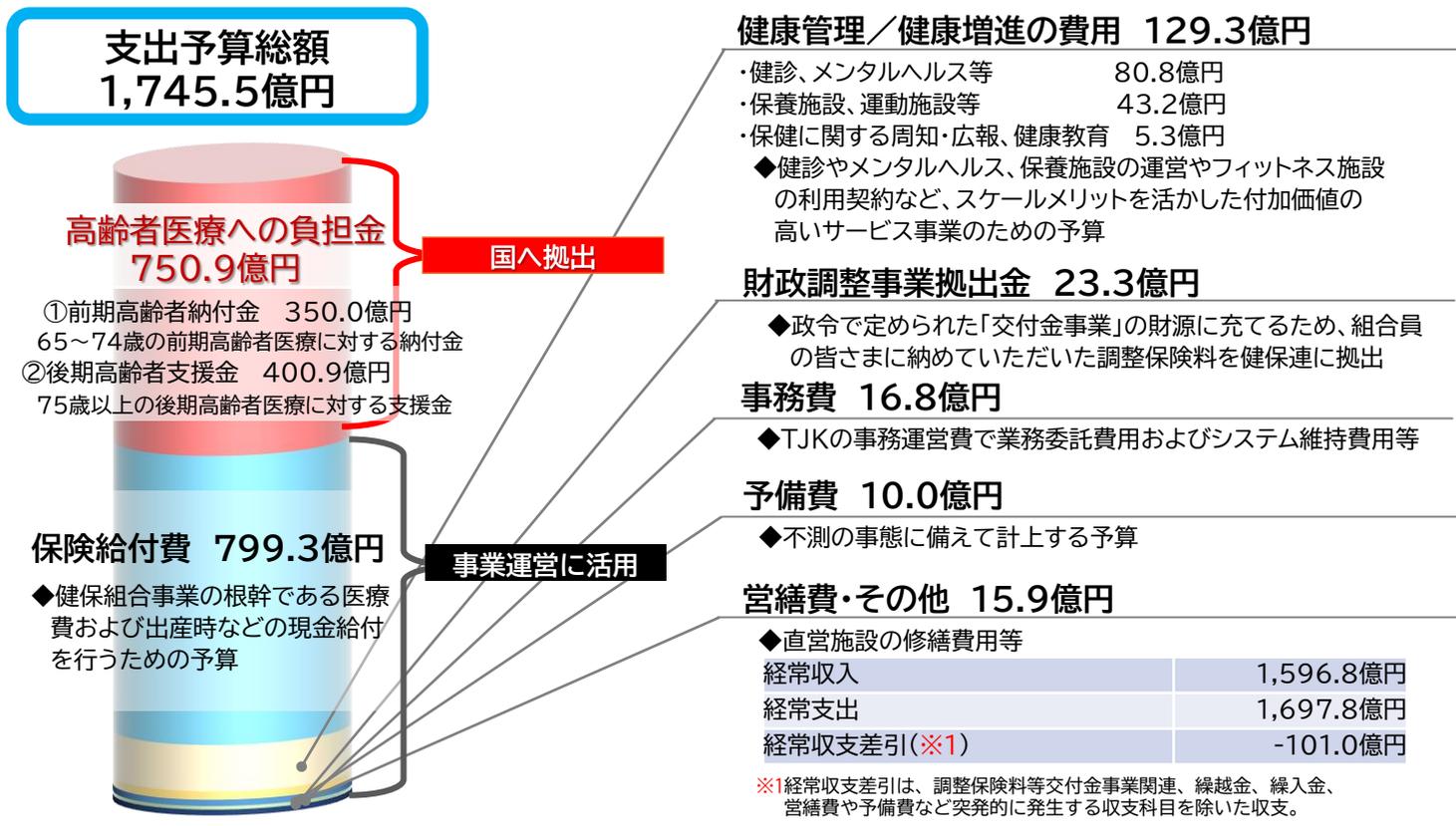
2025年度保険料率

■ 保険料率は14年連続8.9%を維持

- 保険料率(調整保険料率含)は2012年度以降14年連続8.9%を維持。

- 健康保険組合平均を0.42ポイント下回る。(2024年度健保連平均9.32%)

収入の半分を占める高齢者医療への負担金に加え、2026年度からは子ども・子育て支援金率(支援納付金分)が保険料率に上乗せに。保険料率と事業再編の議論を開始します。



保険給付費

医療技術の進展、国民の高齢化等、その経済規模は年々増加

- ・ 限られた医療資源の最適な配分や将来に持続可能な制度の構築は喫緊の課題。
- ・ コロナ禍初期の受診抑制も一時的、感染症分類5類以降は軽症呼吸器疾患の受診者増加(外来医療、院外処方)。
- ・ 医療技術の高度化、高額薬剤の出現、さらに必要医療の自然増等も含め、1人当たり医療費伸び率3.9%増を予算計上。
- ・ 傷病手当金は特にICT業界に顕著な精神疾患系罹患による請求が年々増加傾向。

健康管理事業／健康増進事業

TJKの存在意義である保健事業は加入員へ健康投資として還元

- ・ TJK設立の原点、ICT業界での最大資産である“ヒト”の健康づくりを積極的に実施することで、個社ではなしえない福利厚生事業を提供。
- ・ 予防、早期発見の観点からの「健康管理事業」。病気にならない健康づくりの観点からの「健康増進事業」を今後も積極的に展開。

経常収支

巨額な高齢者負担金等へ充てるために、準備金からの繰り入れを行います

- ・ 経常収支差引額マイナス101.0億円。
- ・ 赤字の要因は保険料等の収入面の増加を、支出面、特に保険給付費と高齢者負担金の増加が大きく上回ったことによるもの。
- ・ 収支均衡を保つため準備金からの繰入金109.7億円を予算計上。

介護保険予算 —TJKは市区町村が運営する介護保険の保険料を代行して徴収しています—

介護保険料率は現行維持の1.8%となります

40歳以上65歳未満のTJK加入者は「介護保険第2号被保険者」となり、健康保険料と共に介護保険料もTJKに納めていただくこととなります(被扶養者負担はなし)。

◆介護保険制度◆ 40歳以上の方が保険料を負担し、要介護状態のときに費用の1～3割を自己負担することで介護サービスを受けられる制度

基礎数値	介護保険被保険者数	175,000人	収入	介護保険料収入ほか	177.9億円
	介護保険料納付者数	142,900人	支出	介護納付金ほか	177.9億円

—— “健康”、“生活”、“安心”のためのTJK事業 ——
TJKは **健康増進・健康管理事業** に注力してまいります

“超高齢社会”に対する健康保険組合としての責任と
“ICT業界”の発展への役割、“健康”という価値への使命

人生100年時代。TJK加入時の『健康づくり』、その後の『健やかな暮らし』のため、事業を通じて価値を届けることがTJKの使命です。

Basic

法的等事業

- ・保険料率8.9%
- ・TJK独自の付加給付
 - 医療費の自己負担上限 2万円
 - 出産に伴う給付金 50万円プラス10万円

Priority

健康管理事業

- ・人間ドック、健康診断
- ・メンタルヘルス相談
- ・メンタルヘルスセミナー
- ・健康経営サポート

Value

健康増進事業

- ・保養施設展開(直営施設、契約施設、補助金施設)
- ・多地域イベント開催
- ・フィットネス事業

2025年度 適用関係状況 —被保険者数・標準報酬—

Basic

新規採用計画は苦戦。経験者の流出もあり被保険者数は微増に留まる。

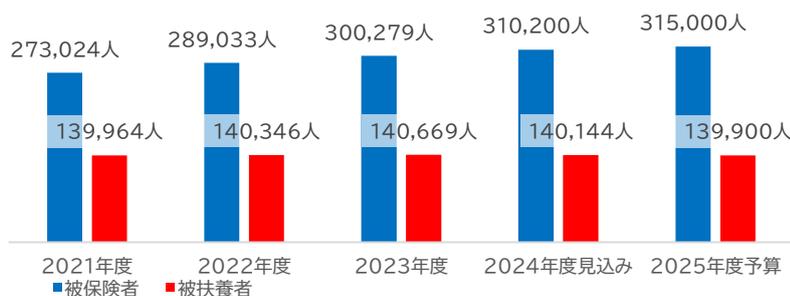
■被保険者数

- ・ コロナ禍を契機としたICT需要の高まり、人材確保に苦戦。4月採用計画も必達目標にシフト、さらにICT人材の売り手市場から、経験者の流出(採用との逆転)が顕著な状況にある。
- ・ ICT業界における事業再編は常態的かつ不定期に発生。期首に6社減少などの影響により、被保険者数は微増の315,000人(前年対比4,800人増)を見込む。

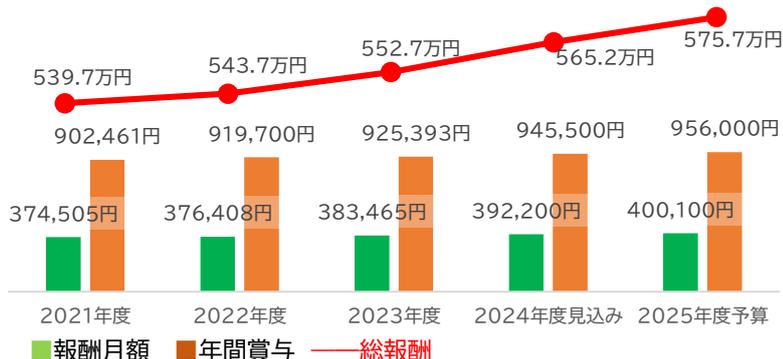
■標準報酬

- ・ 人材確保、処遇改善、物価高騰等による賃金上昇は継続傾向。
- ・ 報酬月額が400,100円、年間賞与956,000円、総報酬575.7万円(前年対比10.5万円増)を見込む。

[被保険者数・被扶養者数の推移]



[標準報酬月額・年間賞与の推移]



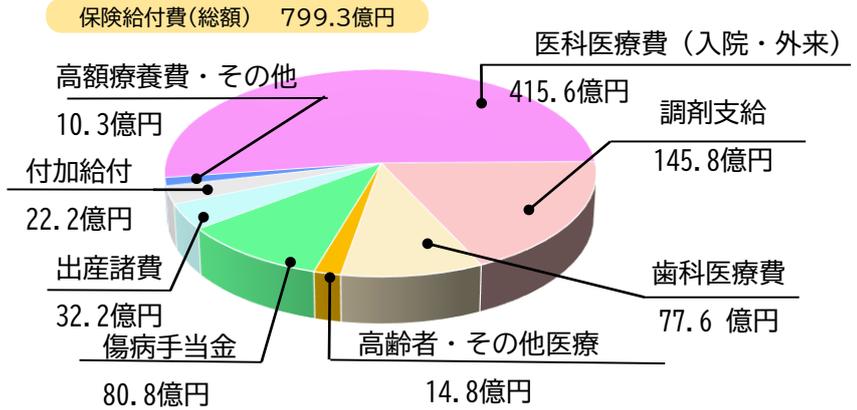
2025年度 保険給付事業 — 医療費 —

1人当たり医療費3.9%増

■医療費

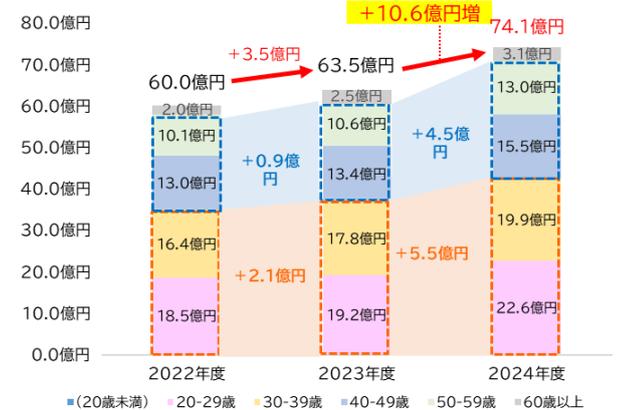
- 新型コロナウイルスの感染症分類5類以降、軽症呼吸器疾患の受診者増加（外来医療、院外処方）。医療費上昇が継続。高止まりの様相。
- 医療技術の高度化、高額薬剤の出現、さらに必要医療の自然増等も含め、1人当たり医療費伸び率3.9%増の予算編成。
- 傷病手当金は特にICT業界に顕著な精神疾患系罹患による請求が年々増加、健康管理事業のメンタルヘルス対策による予防、早期対応など、継続的な取り組みが必要とされる。

保険給付費 予算の内訳



PICK UP 傷病手当金 — 2023年度から2024年度「10.6億円増」

- ◆ 20歳台は両年度とも支給額の「9割」を精神疾患が占め、精神疾患だけで前年度比「3.5億円」増加。実支給人数は前年度2,549人から1.24倍の3,160人と増加見込。
- ◆ 30~40歳台は支給額の「8~9割弱」が精神疾患で、いずれも前年度比「1.8億円」増加。
- ◆ 50歳台の精神疾患支給額は「6割」、前年度比「1.4億円」増。また、加齢とともに罹患しやすい「新生物(がん)・循環器・神経系疾患」を含む疾病による支給が前年度比「1億円」増加。
- ◆ 精神疾患の請求日数は「116.0日」と一般的に長期化(その他疾患平均71.0日)する傾向にあり、受給人数の増加に加えて、支給総額の上昇が課題。



2025年度 高齢者医療への負担金

高齢者負担金総額750.9億円

■後期高齢者支援金

75歳以上の医療費のうち、現役世代が4割を負担。

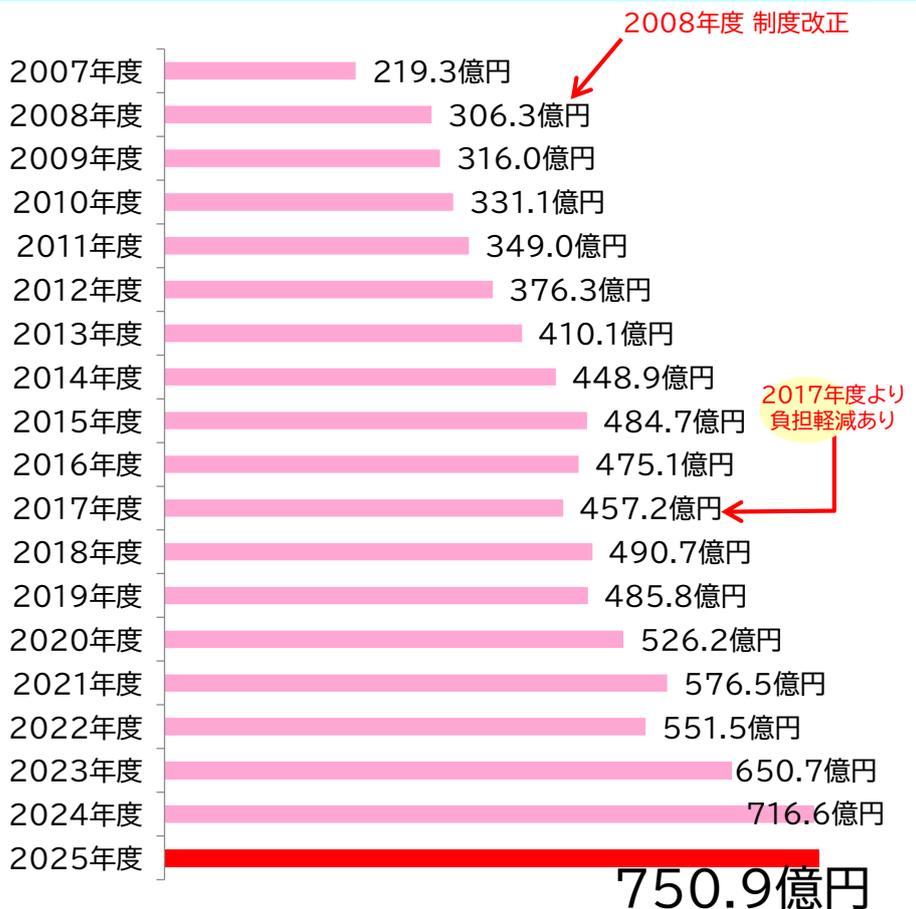
■前期高齢者納付金

65~74歳の加入率を全国平均値に調整するため、若い世代が多く加入率の低いTJKは多額の調整医療費を納付。

- 超高齢社会や医療費の高額化から、いずれの負担も増加傾向のため、納付金は保険料収入の半分に達する状況。
- 2025年度も準備金の取崩しで負担金を賄うも、過重負担の是正は健保連とともに訴えていく。

PICK UP 2025年度 高齢者負担金 750.9億円

- 保険料収入に占める割合 47.9%
- 保険料率換算 4.2%



ICT業界の最大資産となる“ヒト”の健康。治療から予防、早期発見、重症化防止

健診メニュー

社員の方だけでなく家族の方も受診しやすいよう、年齢、性別に応じた健診を展開

	A健診 (基本健診)	B健診 (生活習慣病予防健診)	C健診 (人間ドック)	D健診 (特定健診)	E健診 (女性生活習慣病予防健診)	F健診 (巡回レディース健診)
本人	全年齢	35歳以上	35歳・40歳以上	—	—	—
家族	—			全年齢		

直営健診センターの充実と向上

- 2025年秋以降、第1土曜日をLady's Dayとして営業
＜東中野保健センター＞
- 胃部内視鏡検査の内容充実、増枠
 - 内視鏡センター創設＜西新橋保健センター＞
 - 胃部内視鏡の検査室の増室＜東中野保健センター＞
 - 鎮静剤を使用した検査の導入＜東中野保健センター＞
- 快適な環境整備と検査機器の計画更新



東中野保健センター

西新橋保健センター



健診受診機会の強化と向上

- 健診受診率の低いご家族(現状49.6%)、特に配偶者の受診率向上を図るため、TJK単独ではなく、各社の事業主様との連名にてDM等の発送。
- TJKパートナー健診施設との提携
 - 受診者数が多い健診機関と提携し、『TJK加入員専用受診枠』を設けた“TJKパートナー健診”の提携。
- 未受診者への受診奨励DMIに健康情報を付加し、受診への動機づけとする。
- 全国的な受診環境の整備
 - 居住地対象者と契約健診数の相対配置を検証し対応。

メンタルヘルス対策

＜相談事業＞

- メンタルヘルス相談
 - 自分自身だけでなく、同僚や部下、ご家族のことなどの相談窓口。
- 子育てサポート相談
 - 子育てに関する悩みや心配事の相談窓口。

＜セミナー事業＞

ICT業界に特に多いとされるメンタル疾患、複雑化する企業経営、最大資産となるヒトへの対応を、階層別、テーマ別にて実施

- オンライン型
- 対面型

データヘルス計画

＜データヘルスとは・・・＞

医療保険者が健康・医療データを分析し、保険者ごとの健康課題に合わせた保健事業を行うこと。これにより、健康寿命の延伸、生活習慣の改善による疾病リスク解消、さらに将来的な医療費の削減につなげていく。

■生活習慣病重症化予防

—診療レセプトと健診結果との突合により、治療勧奨や重症化防止のための啓蒙アプローチ

■糖尿病腎症重症化予防

—直営健診センターの健診結果より、糖尿病性腎症リスク者へ受診勧奨を実施

感染症対策

- インフルエンザ予防接種費用補助
補助金額 2,300円
- 新型コロナウイルスワクチン接種費用補助
＜対象者＞ ①65歳以上の方 ②60～64歳で一定の基礎疾患を有する方
補助金額 2,000円(上限)

※2025年度の実施有無についてはHPIにてご案内いたします。

“健康経営”の積極的な推進 —“健康経営”の初めの一步、“健康企業宣言”—

健康経営とは

健康経営とは、「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること」です。企業が従業員等の健康維持増進に取り組むことは、従業員の活力向上、生産性の向上をもたらし、業績の向上や企業イメージの向上にもつながります。TJKでは「健康経営」に取り組んでいただくためのさまざまなサポートを実施しています。

■『トップの決意』が健康経営の始まり。



✓ 健康経営に取り組むことは、従業員や求職者、取引先などに向けた自社のアピールになります。

採用充足率

77.4%

認定事業所以外

90.4%

金・銀の認定事業所

+13.0ポイント



TJKでは専門資格をもつスタッフが認定取得に向けてサポートします！

多くの事業所が健康企業宣言に取り組んでいます！

銀の認定182社／宣言238社
金の認定 20社／宣言 49社

健康企業宣言サポート

- 健康経営の意図、効果等、これから取り組む企業への導入メリット解説
- 実践的な推進方法や他社の取り組み事例等の紹介セミナー
- 認定に向けた申請手続き等の事務的なアドバイス

ウェルネスレポート

- 各社の社員、家族等の医療情報や健診結果等を時系列で分析、検証
- 課題の抽出とこれからの対応等が見える化したレポート
- 活用セミナーの開催



アドバイザー個別訪問支援

- 保健師と健康経営エキスパートアドバイザーの資格を有するTJKスタッフが各社を訪問、当該個社の実情に応じた対応等の相談支援

— TJKは2025年10月に創立50周年を迎えます —



『健康を未来へつなぐ～あなたのそばにTJK～』をコンセプトに、2025年4月より1年かけて50年の感謝をみなさまへ伝えてまいります。

50周年
記念イベント
(思い出のTJKイ
ベント・野球大会・
フィットネス賞切)

直営施設
で50周年
イベント実施

HP
50周年記念
サイト

etc...

「病気にならない心身の健康づくり」を目指し、
「新しい事業スタイル」でみなさまの心身の健康づくりをサポートいたします。

直営保養施設(金谷城・白樺・箱根)

「アルペンドルフ白樺」、「TJKリゾート金谷城」は、誕生から30年以上が経過し、次の四半世紀に向け、3か年計画でリニューアルを行ってきました。このリニューアル計画が完了間近です。
新しくなった、「アルペンドルフ白樺」、「TJKリゾート金谷城」をぜひご利用ください。

ALPEN DORF 白樺 大自然の、アメニティの、贅沢な、そして、「クオリティ」のAD白樺(SINCE1992)



コモレビの湯

クアゾーン
「信州の森」

客室
リニューアル



天空の、歴史の、眺望の、そして、「おもてなし」のTJKR金谷城 (SINCE1988)



みなもの湯

体育館
「デルフィン」

海側広場
魅力向上

増加する加入員への事業利用の機会創出

<借上保養施設の増室>

- 年間借上保養施設
ホテルオークラ東京ベイ ⇒2部室増室
- 夏季借上保養施設
越後湯沢温泉 湯けむりの宿 雪の花
軽井沢プリンスホテル
塩の湯温泉 蓮月
⇒1部屋増室
- 週末限定借上保養施設
越後湯沢温泉 湯けむりの宿 雪の花
湯めぐりの宿 修善寺温泉 桂川
八幡野温泉郷 さらの里
⇒1部屋増室
ハーヴェスト軽井沢
いにしえの宿 佳雲
家族と過ごす白浜の宿 柳屋
⇒1部屋増室+日曜日宿泊を対象に追加
鳥羽シーサイドホテル
⇒日曜日宿泊を対象に追加

<人気施設との新規契約>

- 週末限定借上保養施設
塩の湯温泉 蓮月
- 冬季限定週末借上保養施設
リゾーピア久美浜(京都)
※11/7~2/28の金・土・日
- 補助金保養施設
「万葉倶楽部(全国6施設)」
「お宿ネット(全国20施設)」

<既存契約施設の見直し>

- 契約終了
サゴロイヤルホテル
ヒルトン沖縄瀬底
匠の宿 深山桜庵
- 新規契約
候補:沖縄県内で検討
:静岡県浜松市・西伊豆で検討
:深山桜庵別館湯めぐりの宿平湯館で検討

年間通じてイベントを実施!

<新規イベント>

- 日帰りヨガ体験
- 関東地区収穫体験 「味覚狩り」
- 関西地区収穫体験 「味覚狩り」
- 関西地区 「日帰り船釣りイベント」

<定員増イベント>

- 東京ディズニーリゾート
- ナガシマスパーランド
- 関西ユニバーサルスタジオジャパン 等多数

■ 新任議員の紹介

2025年2月13日にて新しく組合会議員の方2名が選出されました



選定議員 福留 由文
株式会社リンクレア



互選議員 中矢 賀長
日本自動化開発株式会社